

南丹市内における放課後等デイサービス事業所に関する実態調査 調査結果

1. 目的 : 南丹市における障害児の通所支援の課題抽出に向けて、南丹市内に所在する放課後等デイサービス事業所の現状把握を目的とする。併せて、医療的ケア児のサービス利用の状況を把握する。
2. 調査方法 : 調査票への回答及び聞き取り
3. 調査期間 : 令和元年11月～12月頃
4. 対象事業所 : 南丹市内に所在する放課後等デイサービス事業を提供する事業所6事業所(別紙1)
5. 調査内容 : 定員、実利用人数(全数、南丹市民数)、延べ利用人数(全数、南丹市民数)、平日の利用状況、学校休業期間の利用状況、事業所が把握する問題点、医療的ケア児の有無、医療的ケア児の状況、医療職の配置状況(別紙調査票)
6. 調査結果 : 資料1
 - ・調査対象事業所の利用児童実人員の合計を見ると、半数が南丹市児童で残り半数弱が他自治体児童が利用している。
 - ・調査対象事業所のうち、半数が園部町内、残りが八木町内に所在する。園部町内所在の事業所は南丹市児童の利用割合が高く、八木町内所在の事業所は3割以下と低い。八木町内事業所は丹波支援学校から近い為、支援学校の他市児童の利用が多い事が影響していると考えられる。
 - ・支援学校に近い2事業所以外の事業所の利用児童は4～5割が支援学校生で残りが一般校在籍児童である。
 - ・事業所の1日平均利用人数は平日、学校長期休業期間は定員に近い利用であり、新規受け入れ枠の余裕がない状態である。
 - ・現在、1事業所は医療的ケア児を受け入れているが、どの事業所も南丹市児童で医療的ケア児の利用はない。
 - ・事業所共通の課題は、職員の人員確保の困難さである。続いて、利用数が満杯状態で新規受け入れが困難な状態である事や、職員の支援技術の向上・研修機会等の不足が挙げられている。